



# 議会だより

発行：八郎潟町議会

編集：議会広報編集委員会

〒018-1692 秋田県南秋田郡八郎潟町字大道80

☎ 018-875-5810

## 賀正

### 第19回

## チャリティーフェスティバル



あったかい  
善意の出演者



#### 主催団体の善意

町社会福祉協議会へ

5万円

#### 観客の芳志

歳末たすけ合いへ

22,260円

新潟県中越地震見舞金  
(日赤へ)

20,477円



目

次

2～6ページ… 一般質問

7ページ… 各委員会から

7ページ… 八中生模擬議会

8ページ… 請願・陳情

8ページ… 議会のうごき



# 一 般 質 問



伊藤秋雄 議員

## 子育て支援と 事業について

**問** 少子化が止まらないのは子育てに費用がかかるからである。内閣府調査の家計経済研究所のまとめによると、費用は月平均4万3千4百円で生活費の16・1%を占めている。県は9月定例議会で第3子以降の保育料の無料化を見直す方針をあきらかにしたが当局ではどうとらえているのか。

**答** 今回の県の見直しは、生活基盤の弱い人、若い世代を対象にしているこ

とから効果があると思う。

**問** 少子化対策として町民から結婚相談員を何人が委嘱して、結婚相談活動推進事業、又は結婚相談所を設置することは出来ないものか。

**答** 結婚推進事業については、現代は相互の意志のもとで結婚するのが普通であることから、今相談員を委嘱するのは大変難しいことではあるが、いずれ考えていかなければならないと思う。

## 台風被害

### 農家の支援策

**問** 今年の台風による被害は想像以上で16年産の水稲の作況指数は「85」、大冷害に見舞われた平成5年の「83」に次ぐ低い数字である。他町村では農業共済支払い後、減収率が平年の3割以上になった農家の町民税や国保税を20〜100%まで5段階で減免したり、来年の種子購入に対する県助成に上乘せしたりしている。我

が町では被害を受けた農家に対してどんな支援・対策を考えているのか。

**答** 現在補助に該当する農家は無い。

災害特別資金対策としての貸付金について、県助成の申請はないがJA貸付金の申込みは11月末日14件。2、930万円。貸付率1・5%。本人1%、町0・25%、JA0・25%。周辺町村の種子購入については1/3助成の方向となつている。本町でも動向を検討しながら対応したい。

## 三町合併協議会

### どうなる

**問** 井川町が離脱を表明している。我が町は五城目町と二町で合併するのか、単独立町でいくのか、財政計画を立て、シミュレーションを作成し、町民へ説明会を行う計画はあるのか。

**答** 年内に町内会長会議を開き今までの経緯を説明する。1月の早期に町民の意向を調査する。

**問** 未合意の「町づくり計画」についてある町の町長が「秋田―八郎潟線

インターチェンジの道路は役場前まで延長し、今回の新町の計画に入れるべきだった」と答えてい

た。昨年9月定例議会で「小池町内（下小池）にバイパスを」の質問に当局は「交通社会と道路網の形態も変わってきているので当地区の道路整備を再検討していく」と答えたが、なぜ道路の延長や整備計画を新町づくりに計画事業に入れなかったか。

**答** 7号線からの延長については、秋田県事業としてとりいれてもらうよう要望していたが秋田21総合計画に基づかない事業であるので、県では入れていないが先般の同盟会でお願している。下小池バイパス道路については新町財政計画の普通建設事業に入れていくが、単独立町でいく場合は再度検討していく。



小柳 勉 議員

## 役場庁舎の「耐震診断」の実施を急ぐ必要があると思うが、どうか

**問** 昭和45年に建設後35年目、老朽化が進んでいる。

昭和56年以前に建設した施設は、当時の「建築基準法」では、震度5程度までは被害はないが、震度6、7では甚大な被害をうける心配があるので、診断を急ぐ必要がある。

**答** 公共施設、特に昭和56年以前に建設した学校等については、早急に「耐震診断」を実施するよう関係機関から指導を受けている。

役場庁舎も防災対策のため「耐震診断」を実施しなければならないが、今後庁舎の改修を実施す

る時には構造上の強度について診断しなければならない。

**井川町の対応によって、本町としての合併への進め方を如何にするのか**

**問** 私の意見は、

○正職員、臨時職員など、過大な職員の問題。

○財政負担の多い「開発公社」の問題。

○公共施設等の統廃合に展望がない。

など、多くの課題をかかえている。五城目さんと、本町の合併協議には反対である。

課題の少ない井川さんと、本町の合併を進めるべきである。

いずれにしても町民の意向把握が必要であり、

- 五城目町と本町が合併になる場合。
- 井川町と本町が合併になる場合。
- 自立の場合。

など三つの選択肢を資料によって示し「町民座談会」を開き、アンケート

調査を実施すべきである。

なお、井川さんは合併特例法の期限である来年3月末までにこだわらず、後年度の合併を考えているとすれば、本町としても自立しなければならぬと思います。

自立するとなれば、思い切った「議員定数削減」を決断し、徹底した「行



小野 廣 議員

### ミニ焼却炉の進捗状況と今後の見通しについて

**問** 川口地区に設置されているミニ焼却炉の進捗状況と今後の見通しについて。

**答** 経過としては会社側から当地に試験的にやらせて下さいとの申し出があり、場所を19年3月までと期限付きで貸与し業者が工事を進めて早い時期に稼働できると思っていたが、今ま

財政改革」が必要です。

**答** 八郎潟町の進路については、議会と充分協議の上、年内に町内会長会議、1月早々に「町民座談会」を開き、アンケート調査を実施し、町民の意向を把握して進める。

当然、町の行財政運営についてのシミュレーションを提示する。

で小型の物が建設したことがなかったのと、県や保健所の届け出等とか、機械の検査、又燃料であるコークスの暴騰で確保が難しかった為、今度は手続きも終わって12月中は試験的に稼働し1月から正常運転できる。

### 広域ゴミ「びみ」焼却炉(一市五町村)の経過と本町の誘致について

**答** 現在の過程では、若美町が松木沢地区を選定し、ここは多分いいだろうという事で話が進んでいる。面積は6〜7ヘクタール位である。地域の要望は道路改良や、施設

の建設等で、これからまだ時間がかかると思う。

広域処理場完成までの間、川口地区に議会と町民の了解が得られれば、中型の施設を出来るものであれば、そういう仕組みを考えている。現在秋田市へ搬入している期限は19年3月までである。もし「ダメ」になればそのような方法も考えている。やり方についてはなるべく地域の負担のないようなやりかたもあるようですので、そのことについては皆様と後で又相談したいと思っている。

カルチャーセンター建設計画の進捗状況と既存物の解体時期について

**答** 解体工事は10月7日に落札をした。工期は1月末までに終了する。業者は「ユナイテッド(株)」である。次にカルチャーセンターの建設でありますが、現在場所はまだ決まっておられません。商工会からの要望、そして総

務委員会が採択されてきたのがバリエューの跡地に建てて貰いたいというものであります。可成の額にもなるし、課題もあり、いつ建てるということについては、この後皆様と協議したい。これは年度内に解決しなければいけない絡みもあり、そこが「ダメ」であれば、次はここだと示して行きたいので十分検討願いたい。カルチャーセンターの残地について更地にして多少の緑化等も考えている。面積は114.4m<sup>2</sup>位である。

中久保地区から湖東農免道路に通じる道路建設の進捗状況について

**答** 地域の方々には大変ご不便をかけておりますが7月に測量し地権者の協力も得ていよいよ発注する段階にきました。12月22日に業者を決めて発注する、概算は長さが136m、巾が5mで「中久保地区道路改良工事」とし年度内の3月で完成する。

町営住宅の増設について



三戸留吉 議員

### 町営住宅の増設について

**問** 住宅の入居募集するたびに10人くらいの申込者があり、我が町は人口密度も県内で3番目に高く、また、駅や高速のインターもあり、交通の利便性、現在の核家族化も考慮すると、今後も他町村からの入居が増えると考え、町営住宅の増設の考えはないものか。

**答** おっしゃる通り我が町は人口密度、交通の利便性もよく、過去3年間新しい住宅では10人くらい平均で3・8倍の申込み者があり、他町村からの入居者が40%あります。そこで中嶋住宅の入居させてない空屋も25棟あり、それらを改善し補助申請をしながら17年度とは言えないが、いずれ建替したいと思っております。

男鹿・南秋消防署の広域化について

**問** 今、市町村合併の枠組みも決まり、湖東町は法定協議会中で、男鹿市、潟上市は合併の期日も決まっています。特に湖東消防の組織である昭和、飯田川町は潟上市となることで非常に複雑な面も出てきます。また、合併の基本目標では、五城目町消防庁舎建設も見込まれています。合理化、将来の大合併を見通し男鹿南秋の、消防署の広域化を考えます。

**答** 合併の枠組で、昭和町と飯田川町は、潟上市になる訳ですが負担金については今迄どおり人口割り、有事の指令は本署からと変わりなく、議員の数は、潟上市から6人、八郎潟町3人、井川町3人となり、合併が落ちついた時には、男鹿、南秋が、一本化にならないだろうと、いう意見もある様です。

### TAKE10（毎日10分運動、栄養バランス食毎日10品目）の冊子の導入について

**問** 年々増える老人、介護、保険医療の抑制と、老人の健康維持、子どもたちの肥満を予防するために、南外村では平成13年度からTAKE10の冊子を導入し、65歳以上の老人家庭に配布して大変よい効果をあげているようです。我が町でもTAKE10（毎日10分筋肉ト

レーニングの運動、栄養バランス食、毎日10品目イラストに書いたカレンダー式で老人がわかりやすい）この冊子の導入する考えはないのか。

**答** ものすごくいいことだと思います。今、我が町の医療費は国保で5億7千万、老人保健で9億1千万、介護保険で4億9千万円、合せて19億8千万円、全体の35%もかかっておる状態で、生活習慣病予防のためにも、ぜひ取り組んでいきたいものです。



八柳祐孝 議員

### 「湖東町」合併枠組みが崩れた場合の対応について

**問** 井川町の離脱によって三町合併が事実上消滅した。五城目町との

二町協議となった場合、仮に五城目町がこれまで再三指摘されてきた問題点をクリアしたとしても、スケールメリットはほとんど生まれないのではないかと危惧しているがどうか。

**答** 合併特例法の期限に間に合わなかったとしても、合併本来の趣旨に立ち返り、新しい発想による新たな合併の道を探っていく意思はないのか。

### 「三位一体の改革」に対する認識について

**問** 地方分権が叫ばれて

**答** ここまで話を詰めてきて、こういう状況になったのは残念だ。速やかに今後の対応を協議し、住民の意向を吸い上げる作業に取り掛かりたい。ギリギリまで可能性は探るが、自立の立場でも相当な覚悟はいると思う。特例債は合併の最大のメリットだと思いが、それ以外ではデメリットも多く、慎重に考えていきたい。

久しい中、政府が推進する「三位一体改革」により、国と地方のかかわり方が大きく変わろうとしている。地方交付税や国庫補助金を削減するかわりに、税源移譲などある程度の権限を地方に渡すということであるが、これにより経済力・経営能力のある自治体と、そうでない自治体の格差がより大きくなる。「国土の均衡ある発展」とは大きく逆行する流れであり、

国の都合が地方に押し付けられている感がある。どのような認識をお持ちか伺いたい。

**答** 「三位一体」はとにかく削減ばかりという印象を持っている。税源移譲というが、まったくの大都市優先で、地方なくして国は成り立たないという視点に欠けている。なるべくならば阻止する方向で行きたいが、合併の問題と相まって、大変に厳しい時代という認識だ。難しいだろうが、地方の声が国会に届くよう努力していきたい。

### 日本国憲法9条戦争の放棄について



北嶋賢子 議員

**問** 日本国憲法第9条、戦争の放棄について、憲法第9条は第2次世界大戦の震源地となった日本が多大な戦禍の反省のもとに戦争のない世界をめざして努力する。武力を用いない平和のためにと誓ったもの。憲法が今大きな試練にさらされています。真珠のネックレスの様に1条1条が光り輝いている日本国憲法。平和の中で教育に携わって来た町長の9条への見解を求めます。

**答** 憲法の第9条を読みあげます。党派を越えて全面的に指示するひとりです。

### 五城目町、井川町、八郎潟町の合併について

**問** 五城目町、井川町、八郎潟町の合併について、伊藤、小柳、八柳3議員さんへの答弁と町長の行政報告をたまわりました。井川町が五城目町八郎潟町との合併の最終的な意向を発表しました。かつて八郎潟町民の民意の多くは湖東五町でした。それが三町となり、ここで井川町が法定協議脱となると、二町で進む事まで負託されていないと思えます。単独と五城目町とのシミュレーションを示し、住民投票アンケートの実施で町民に判断をおおぐ必要があると思うが。

**答** 平成15年度は、依存財源が72%、自主財源28%、たいへんだけれども、昭和の合併の事態にならないよう、平和に自立していきたい。



## 子育て支援の充実について

**問** 子育て支援の充実について、勤めながら保育園を往復した自身の経験から、女性の労働条件の改善が、こどもを産み育てる支援につながる、私の持論です。女性の団体が、こどもを連れて、乳幼児医療費の助成制度の維持を県庁にお願いに行きました。労働条件とこどもの医療費の補助等、行政支援の充実が少子化防止の一助となると思うが。

**答** 当町では医療費は学校まで所得制限なし。学童保育の実施、第3子には出産、小学校入学、中学校入学それぞれ10万ずつ祝金を出している。保育園の充実で17年度から幼稚園のあずかり保育を実施計画中。



金 一義 議員

## 生き生きとした潤いのある町づくりを

**問** 私はこれまでの議会で、八郎潟町に住む人々が「ここに住んでいてよかった」と思う町づくりを進めるための様々な提案をしてきました。そのためにはまず、第一に経済基盤がしっかりしていなければなりません。これは自治体のみでなく町民が、すなわち、町の経済も活性化していなければなりません。このためには商店街の活性化の方策すべきとし、なんとか周辺の消費者を呼び込むための提案もしてまいりました。

自立するにせよ、合併にせよ、いま八郎潟町を活力ある、若い人達が喜んで住める町の基礎を、しっかりと作って未来のあ

るビジョンを示してもらいたいと思います。そのためにも町長には、しっかりとリーダーシップを発揮し、合併等に逃げることなく頑張ってもらいたい。

夏の甲子園予選、高校野球大会が我が町の弁天球場が長年使用されてきていきましたが、17年度より能代に変更と大きく出ていきました。町ではどのような活動したのか。

**答** 基幹産業であります農業には、今まで補助等を活用し事業を行ってききました。

また商工会、観光協会、等のいままでの事業にも今後力も注ぎ、中央道等も活用した町づくりを、考えて行きたい。また教育にも力をいれ人づくりし、地域性を伸ばしていきたい。

弁天球場については、昨年新聞でみまして関係機関の方に電話を入れましたら一方的な話で、県北に移動したいとの話でした。残念でしたが、それが今日の報道です。

## 幼稚園、小学校の連携について

**問** 平成16年10月21日中央教育審議会は、幼稚園、保育所と小学校の子供たちが一緒に活動する「幼稚園、小学校連携推進校」の導入を求める中間報告をしている。

これは、就学まえの遊びを中心とした幼稚園から小学校に入学した児童を、小学校の学習にスムーズに適応させるのが狙いです。

幼小連携校は、小学校の児童と幼稚園、保育所の園児らが小学校の生活科などを活用して一緒に活動する機会をもうけたりあるいは、教員の人事交流をしたりしながら、お互いのニーズを知り小学校に入学した際に子供達に、遊びから学ぶ集団に変わったことを認識してもらおうことが目的であります。

幼少の連携については、県教委も積極的に取り組んでいると聞いております。モデル園等の取り組みの報告等によると、小学校と幼稚園には

少なからずギャップがあるとの結果が出ています。が、まずその過程でお互いの状況を知ることが連携の第一歩であるとしております。

今後どのような方策するのか、おしらせくください。

**答** 幼稚園、保育所、学校等、年数回交流を行っている。教育長、教諭等と交えた連絡会議も数回行っている。

園児も学校に入学してなんの抵抗もなく早くなじんでいます。

## 児童虐待防止ネットワーク設置について

**問** 厚生労働省の調査によると、深刻化する児童虐待の防止と早期発見のために、児童相談所や医療機関等が連携する地域ネットワークを設置している自治体があるとの発表がありました。

このネットワークは、市区町村が児童相談所や学校、医療機関、警察等と定期的に連絡会議を開

き、早期の発見に向けて情報を交換し、必要な場合には救済に乗り出す仕組みであり、設置した自治体からは大いに効果が上がっているとの報告もあります。

厚生労働省は今年の6月の調査したものであるが、全国3、123の市区町村を対象にした結果、設置済みは40%にあたる1、243自治体、計画中は10%にあたる306自治体で、残りの50%にあたる1、574自治体では計画自体がないとのことでありました。

そして、計画自体がない自治体の多くが弱小の町や村であるとのこととありますが、設置には補助金もでるシステムであるこの制度を早急に確立すべきと、考えるものがあります。

**答** 県内でもネットワークの設立ができていますが、非常にむずかしい問題です。町では学校、幼稚園、保育所等の情報を密にし、できるだけ早く情報をとり福祉課、教育委員会等と話あつていきたい。

# 委員会審議

## 総務委員会

**問** 財政に関して。  
**答** 本年度の予算編成に2億3千万基金をとりにくずした。

**問** 寒冷地手当は北海道も秋田県も同率か。  
**答** 国の位置付けは区分されている。北海道

は1、2、3、秋田県は4になり県内でも由利地区は対象外、1年目3万、以後1年毎に2万円ずつ5年間減額されていく。

**問** 国民健康保険税で課税限度額の世帯数は。  
**答** 給付分53万、介護分8万計61万円、33世帯である。

**問** 町税条例の改正によると約280万、290万の増収になる様だが不納欠損や滞納の懸念はないか。税務課がもう少し楽な徴収方法はないか。  
**答** 集合徴収や分割、納期増やすのもひとつの例。納め易い様な税の徴収をする。

## 教育民生委員会

**問** 介護認定審査会委員報酬は、日額2万円とのことだが、これは高額に過ぎるのではないか。見直す予定はないのか。  
**答** 今後検討される可能性もあると思う。

**問** 町村合併の影響で生じる「湖東地区行政一部事務組合規約の変更」によって、負担率の変化はあるのか。  
**答** ない。現状どおりとなる。

**問** 防災センターや他の施設などの物品管理について、棚卸等を実施しているのか。帳簿の作成等はどうか。  
**答** 棚卸は実施していないが、3万円以上のものについては台帳を備えて把握している。備品の紛失については悪意あるものばかりとは思えないが、注意を喚起して呼びかけをしていきたい。

## 産業建設常任委員会

**問** 新農業水利システム保全対策事業負担金250万円の内容は。  
**答** この事業は、八郎潟町土地改良区が事業主体で、国負担50%、県負担10%、町負担25%、土地改良区15%の負担割合で実施する。

事業内容は、真坂、夜又袋、川口揚水機高架水槽の補修、水路安全施設（フェンス）取付などで、平成16年度1千万円、17年度1千700万円、18年度1千300万円を見込んでいます。

**問** カルチャーセンター移転補償費7千200万円を当初予算に計上していたが、建設費は、いつ計上するのか。  
**答** 既存施設の解体費は、設計料とあわせ、984万円すでに予算計上しているが、建設場所が決まり次第、年度内の早い時期に建設費を計上したい。

なお、解体費、建設費が、移転補償費7千200万円より下回った場合は、その差額は、中央道の本体工事費に振向ける。



# 初の八中生 模擬議会

12月9日、町議会議場で、八郎潟中学校2年生による模擬議会が開かれました。議長席、議席に着いた17人の生徒からは、総合学習の授業を通じて研究した「福祉」「環境」「観光・商業」「自治」の四分野についての一般質問が行われ、町長、町当局、多くの傍聴者を前に、その成果を存分に披露していました。

議会後には、農村環境改善センターでモニター傍聴していた議員以外の2年生と合流し、出席していた町議会議員などからアドバイスを受けながら、改めて各グループ毎に課題について話し合いました。本物の議員たちも、中学生のフレッシュな発想に大いに刺激を受けたのでは？

## 議員定数 4人削減

今回の選挙から12名に

主財源の乏しい町財政は大変厳しい状況である。町議会が率先して定数削減を実施し、「町行財政改革」を積極的に進めるため、今回の町議選から議員定数を12名にすることが、12月24日開催の臨時議会において賛成多数で議決されました。

平成16年における「地方交付税」の大幅な削減、17年度以降においても国の「三位一体」の改革に伴い、さらに大幅な「地方交付税」の縮減予測など、自

## ◆ 請願・陳情

請願・陳情等の件名	請願・陳情者氏名	審査委員会	本会議結果
台風による被害農家救済措置に関する要請書	あきた湖東農業協同組合 代表理事組合長 勝田 誠	産業建設	採 択
安全・安心の社会保障制度の確立を求める陳情書	秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳	教育民生	不採択
安全・安心の介護保険制度の確立を求める陳情書	秋田県労働組合総連合 議長 日野 充 秋田県中央地域労働組合総連合 議長 村上 政基	教育民生	不採択
「改革」年金法の中止を求める陳情書	全日本年金者組合 秋田県支部 執行委員長 斉藤 重一	教育民生	不採択
「食料・農業・農村基本計画」見直しについての陳情書	秋田県労働市民会議 議長 石田 實	産業建設	採 択
WTO・FTA交渉に関する陳情書	秋田県労働市民会議 議長 石田 實	産業建設	採 択
県立高等学校の図書館の充実をめざす意見書提出を求める陳情	秋田県高等学校教職員組合 執行委員長 佐々木 章	教育民生	採 択
「あきた教育新時代創成プログラム」の策定・実施を急がず、県民の十分な論議の保障を求める陳情	秋田県高等学校教職員組合 執行委員長 佐々木 章	教育民生	採 択
教育基本法「改正」ではなく、教育基本法に基づく施策を進めることを求める意見書を政府等に提出することを求める陳情書	自由法曹団秋田支部 第一合同法律事務所 事務局長弁護士 狩野 節子	教育民生	不採択
現在の乳幼児医療費助成制度の維持について	秋田県医師 会長 寺田 俊夫	教育民生	採 択
「あきた教育新時代創成プログラム」審議会の設置を求める請願書	秋田県教職員組合男鹿市南秋田郡支部 支部長 佐藤 寿芝	教育民生	採 択

## 編集後記



新年明けましておめでとうございませう。皆様にとつて明るいうすばらしい年でありますよう祈念いたします。

議会広報の編集を4年間担当して参りましたが、親しまれる紙面づくりの面で、不備な点が多かったのではないかと、反省しております。

より充実した議会広報である

### 議会広報編集委員

委員長 小柳 柳  
副委員長 八柳 祐  
委員 金 一 祐  
委員 北 藤 義  
委員 齊 徹 孝  
委員 菊地 勝 子  
委員 賢 郎

ように願って、新議員にバトンタッチしたいと思います。

## 議会のうごき

(16年12月定例会)

- 9月19日 全町グラウンドゴルフ大会「弁天広場」 (議 長)
- 22日 全県ゲートボール大会「弁天球場」 (議 長)
- 29日 第12回法定合併協議会(井川町) (正副議長・外)
- 10月8日 厚生連会長・副会長への陳情「農協ビル」 (議 長)
- 10日 スポーツフェスティバル「弁天広場」 (各議員)
- 12日 南秋田郡議会臨時協議会(井川町) (議 長)
- 18日 第13回法定合併協議会(五城目町) (正副議長・外)
- 19日 (県)議会議長会中間監査・役員会「市町村会館」 (議 長)
- 25日 八郎潟町条例表彰式「改善センター」 (各議員)
- 27日 第14回法定合併協議会(五城目町) (正副議長・外)
- 11月9日 議会全員協議会
- 11日 第15回法定合併協議会(八郎潟町) (正副議長・外)
- 12日 南秋正副議長・事務局職員研修「八郎潟ハイツ」(正副議長)
- 15日 大潟村創立40周年記念式典(大潟村) (議 長)
- 17日 第48回町村議会議長全国大会(東京) (議 長)
- 18日 豪雪地帯町村議会議長全国大会(東京) (議 長)
- 22日 五八線期成同盟会 (議 長)
- 25日 第16回法定合併協議会(井川町) (正副議長・外)
- 29日 知事と議会議長行政懇談会「キャッスルホテル」(議 長)
- 12月9日 議会運営委員会
- 12日 社会福祉協議会福祉大会「改善センター」 (議 長)
- 13日 議会全員協議会
- 13日 総務常任委員会
- 15日~17日 12月定例会
- 17日 議会運営委員会
- 20日 南秋田郡議会議長臨時協議会(大潟村) (議 長)
- 24日 第2回 臨時議会